

# きゅうでん隈上川通信 (第1号/令和5年4月)



隈上川は河川の勾配が急で、落差が大きく得られる地形で水量も安定しているため、大正時代から水力を利用し発電が行われてきました。

うきは市には、隈上川に3カ所の発電所があり、九州電力が維持管理を行っています。

水力発電は貴重な地域の電力であり、純国産の再生可能エネルギーとして、我が国の二酸化炭素削減にも貢献しています。

発電所の概要は以下のとおりです。

発電所名	出力	使用水量	落差	年齢
橋詰発電所	150kW	0.42m <sup>3</sup> /s	約49m	大正10年3月(101歳)
栗木野発電所	60kW	0.75m <sup>3</sup> /s	約13m	大正8年8月(103歳)
小塩発電所	420kW	0.83m <sup>3</sup> /s	約66m	大正3年10月(108歳)

※発電所は、上流から順に記載しています。年齢は、令和5年1月現在です。



大正時代に発電を始めたんだね。  
一番古い小塩発電所は、今年で108年にもなるんだって。



水力発電についてもっと詳しく知りたいな。発電の仕組みや歴史についてこの「きゅうでん隈上川通信」で紹介してくれるそうだよ。



発電所の管理は、佐賀市内で行われているんだって。

きゅうでん隈上川通信事務局（九州電力(株)佐賀支店内）

（技術部：西尾、立地コミュニケーション部：秋山、佐賀水力事業所：若山）

☎:0952-33-1123（平日9:00～17:00）